

京都府物品電子調達システム

事前準備

概要	3
証明書のインストール手順	4
1 証明書のインストール有無確認	4
2 証明書の入手と保存	6
3 証明書の確認	8
4 証明書のインストール	10
5 ブラウザの設定	14

概要

【証明書入手とインストールの概要】

電子申請を行うには事前に「安全な通信を行うための証明書」（自己署名証明書）を入手し、お使いのブラウザへのインストールを行う必要があります。ダウンロードをされる前に、必ず本ページを御一読ください。

1. 証明書のインストール有無確認

証明書がブラウザにインストールされているか確認します。

2. 証明書の入手と保存

地方公共団体における LGPKI ホームページから証明書をダウンロードしてください。

3. 証明書の確認

保存した証明書が正しいか、フィンガープリント（拇印）を確認してください。

4. 証明書のインストール

証明書をブラウザにインストールしてください。

5. ブラウザの設定

インターネットエクスプローラの設定を行ってください。

※「自己署名証明書」は 2016 年 3 月 31 日に第二世代が運用停止しました。

第二世代のみインストールされている方は第三世代の自己署名証明書をインストールしてください。

証明書のインストール手順

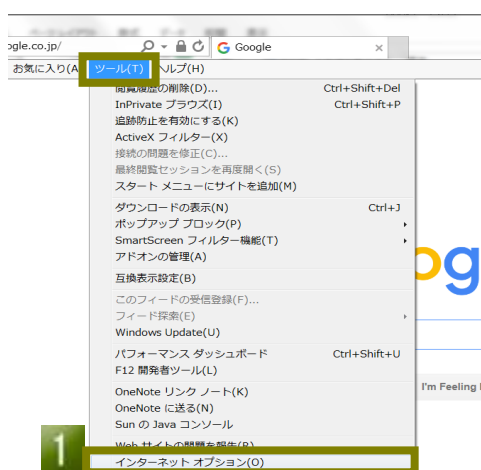
基本的なインストールの手順は次のとおりです。

※使用 OS は Windows 7、使用ブラウザはインターネットエクスプローラ 11 での手順を説明しています。

1 証明書のインストール有無確認

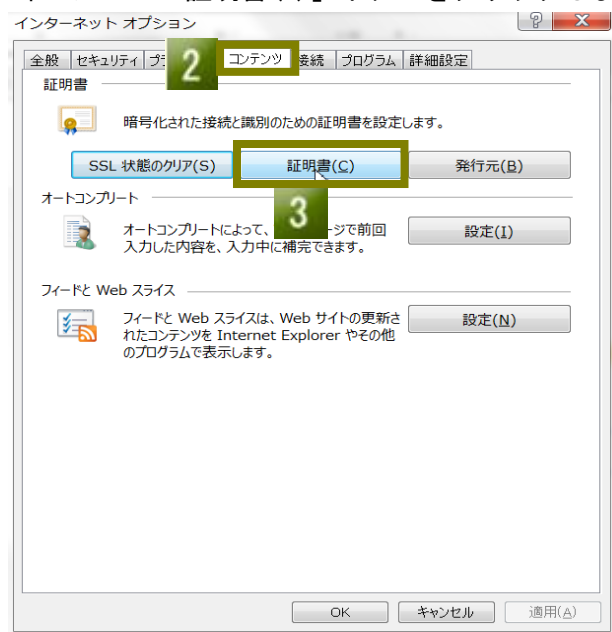
証明書がブラウザにインストールされているか確認します。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。



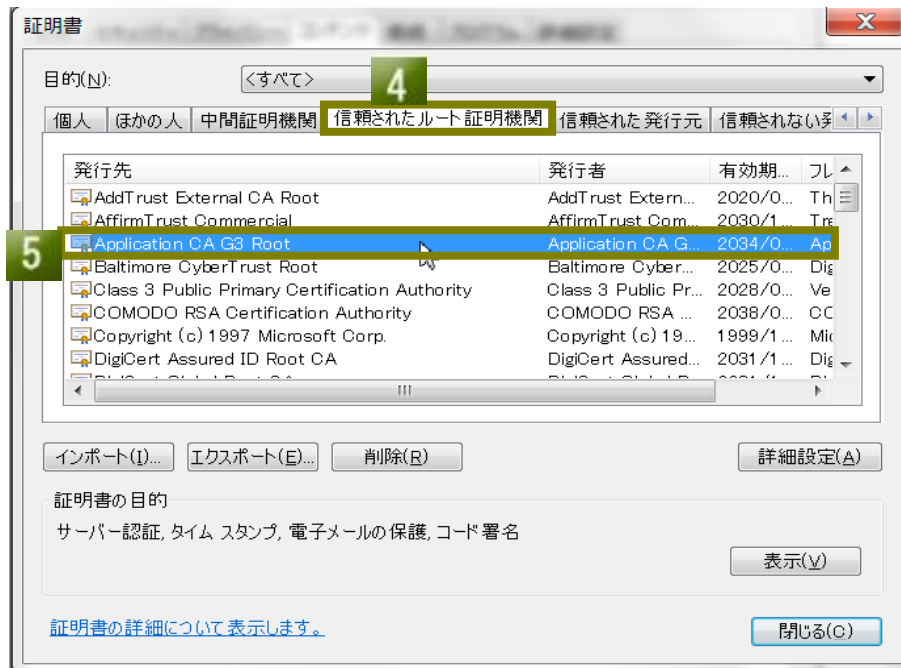
- 2 「コンテンツ」タブをクリックします。

- 3 「証明書」フィールドの「証明書 (C)」ボタンをクリックします。



4 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックします。

5 「Application CA G3 Root」が存在するか確認します。



存在しない場合：手順「2. 証明書の入手と保存」～「5. ブラウザの設定」までを順次実施してください。

存在する場合：【表示(V)】ボタンを押し、手順「3. 証明書の確認」**3**から実施してください。

(確認して問題なかった場合)

手順「5. ブラウザの設定」を実施してください。

(確認して問題があった場合)

上記画面で「Application CA G3 Root」を選択し「削除」ボタンを押下して証明書を削除した後、手順「2. 証明書の入手と保存」～「5. ブラウザの設定」までを順次実施してください。

2 証明書の入手と保存

証明書をダウンロードします。

- 1 LGPKI の「LGPKI における自己署名証明書」のページを開きます。
「LGPKI における自己署名証明書」 → (<https://www.lgпки.jp/CAInfo/install.htm>)
- 2 「LGPKI におけるアプリケーション CA G3 Root の自己署名証明書ダウンロード」をクリックします。



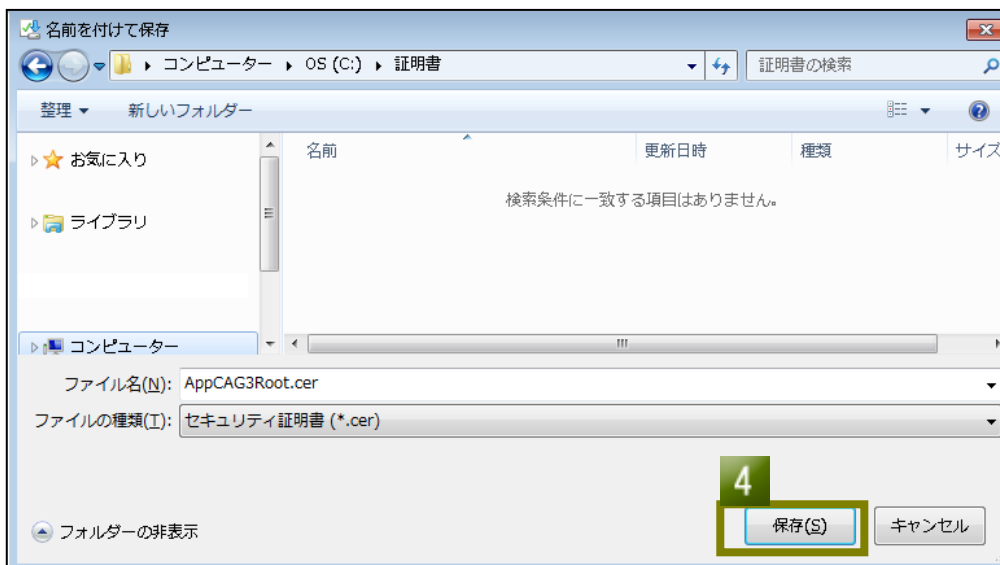
- 3 「ファイルのダウンロード」画面が表示されたら「保存」ボタン横の「▼」ボタンをクリックし、「名前を付けて保存 (A)」を選択します。



4

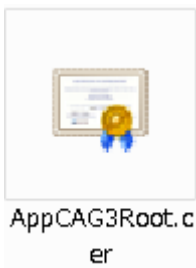
「名前を付けて保存」画面が表示されたら「保存する場所」を指定し（任意で可）、
「保存」ボタンをクリックします。

※ 保存するファイル名は表示された「AppCAG3Root.cer」のまま構いません。
ファイルのダウンロード」画面が表示されます。「保存」ボタンをクリックします。



5

指定した場所に、AppCAG3Root.cer ファイルがダウンロードされます。



← 保存された証明書ファイルのアイコンです。

※証明書のインストールが完了した時点で削除しても構いません。

3 証明書の確認

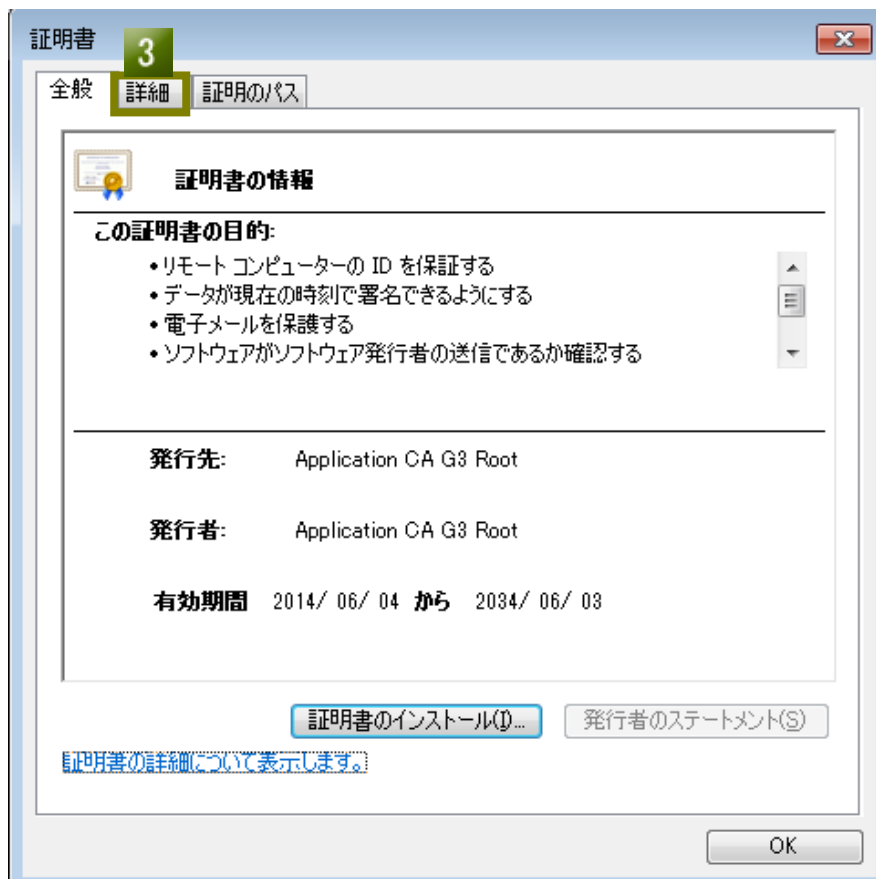
保存した証明書ファイルが LGPKI から発行されたものかを確認する重要な作業です。

1 指定した保存先の証明書ファイル AppCAG3Root.cer をダブルクリックします。

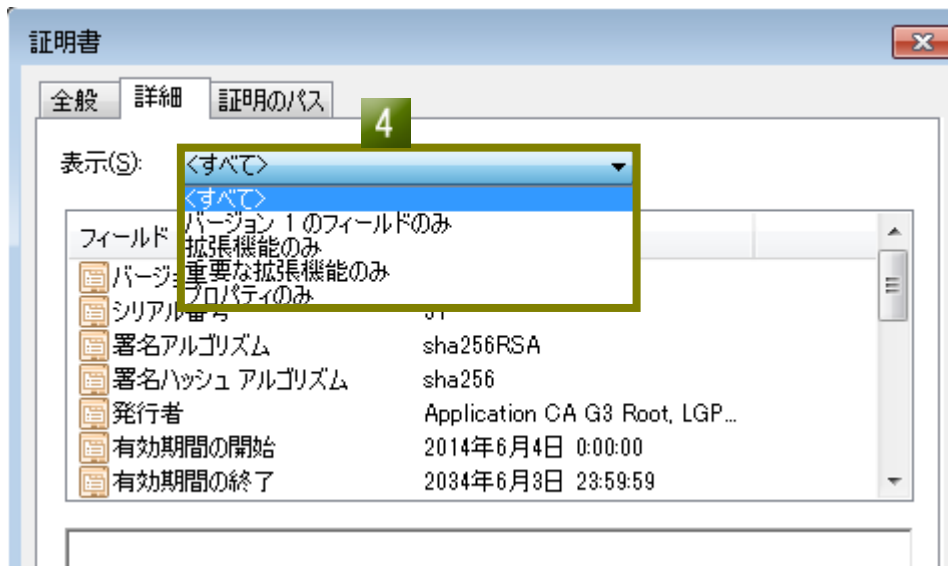
2 「開いているファイル」が表示されたら「開く」をクリックします。



3 「証明書」画面が表示されたら「詳細」タブをクリックします。



- 4 「表示」の一覧から「すべて」を選択します。



- 5 スクロールして「拇印」フィールドをクリックし、青色反転表示させます。

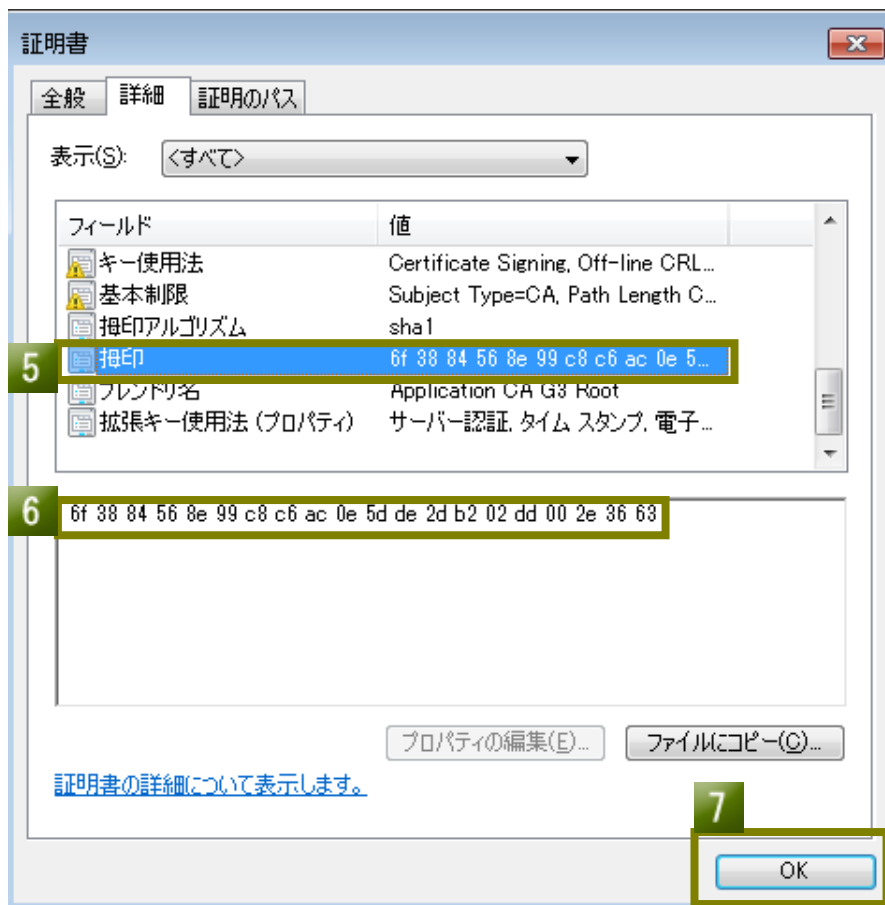
- 6 表示された「フィンガープリント (拇印)」の数値と Application CA G3 Root の自己署名証明書フィンガープリント (拇印)の数値が一致しているか確認してください。

●証明書フィンガープリント

LGPKI Application CA G3 Root の自己署名証明書フィンガープリント (拇印)

6f 38 84 56 8e 99 c8 c6 ac 0e 5d de 2d b2 02 dd 00 2e 36 63

- 7 フィンガープリントの一致を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

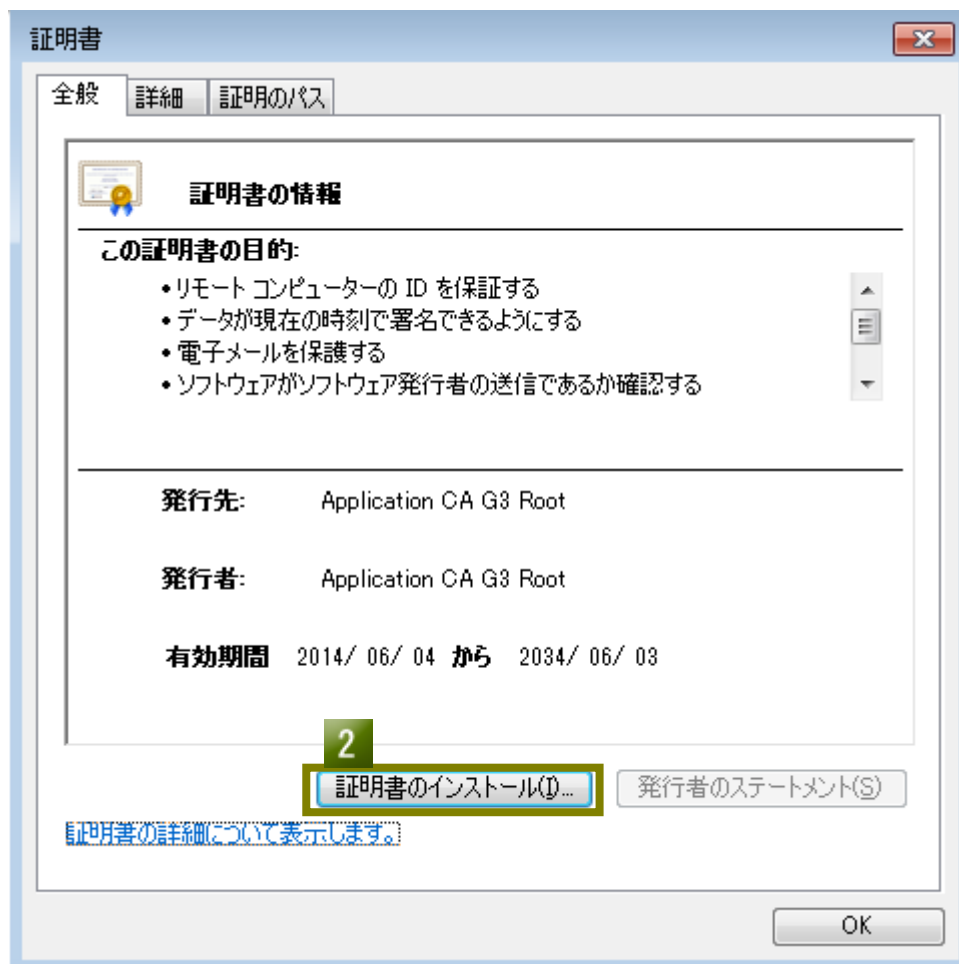


4 証明書のインストール

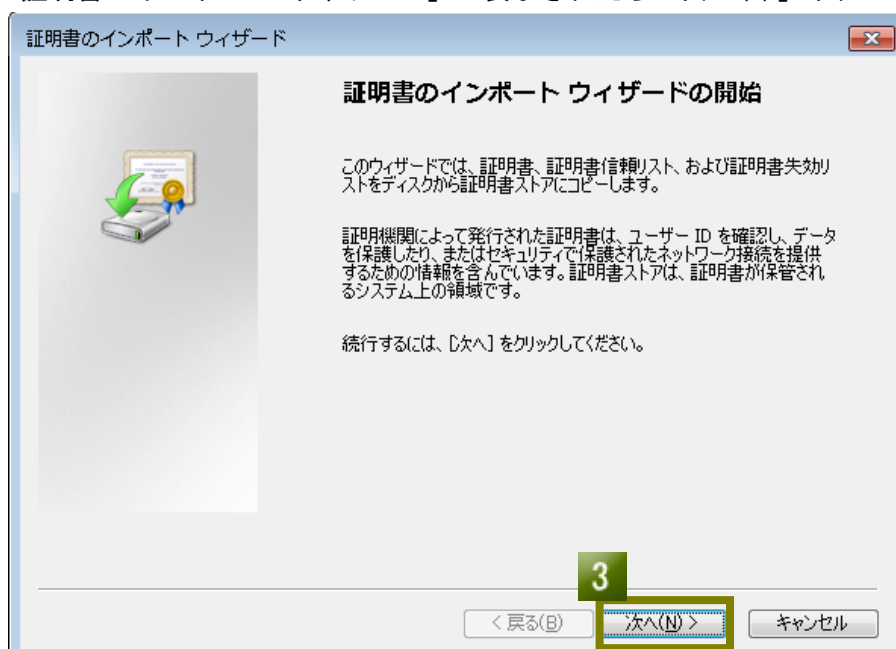
証明書をお使いのブラウザにインストールする作業です。

1 証明書ファイル AppCA G3 Root. cer をダブルクリックします。

2 「証明書」画面が表示されるので「証明書のインストール(I)」 ボタンをクリックします。

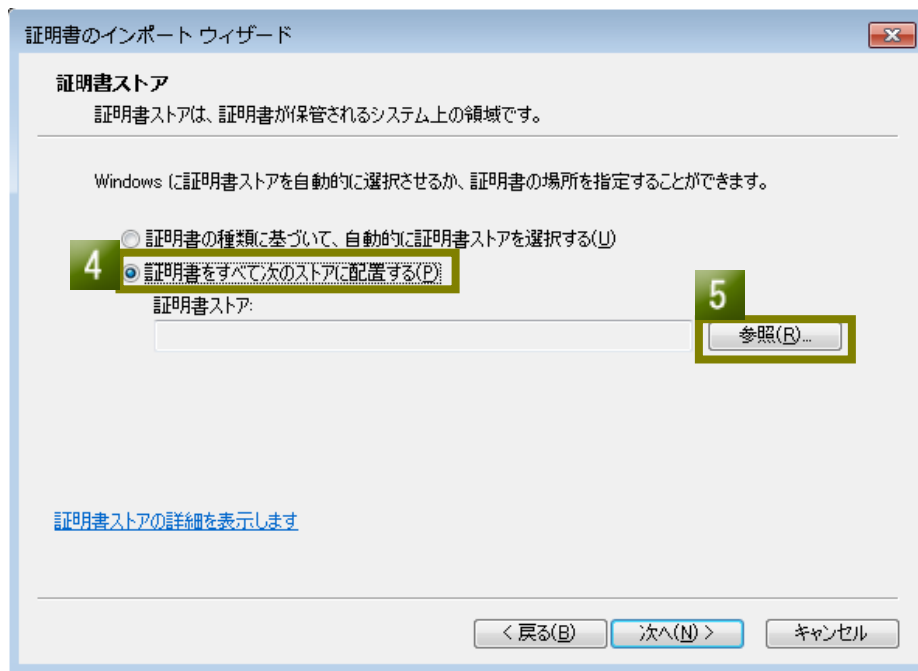


3 「証明書のインポート ウィザード」が表示されたら「次へ(N)」 ボタンをクリックします。



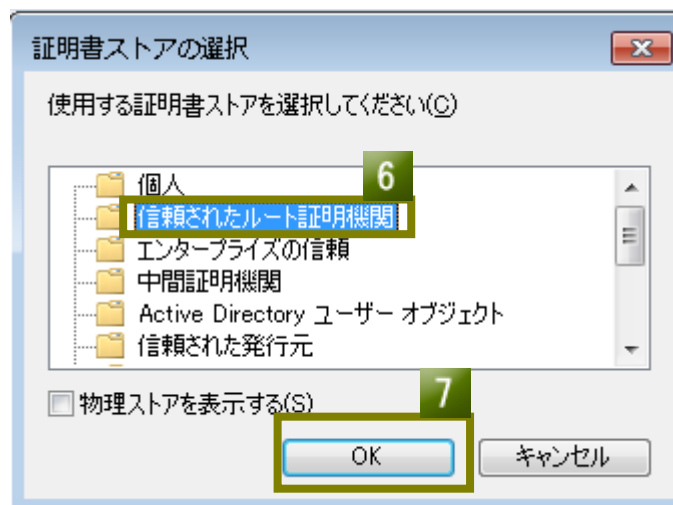
4 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」をクリックし、チェックを入れます。

5 「参照(R)...」ボタンをクリックします。



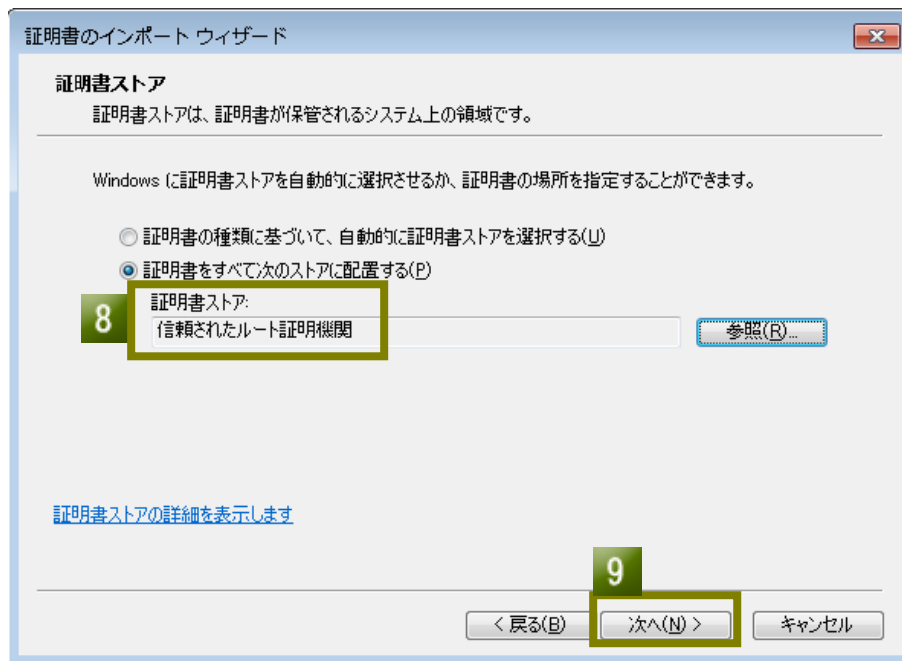
6 「証明書ストアの選択」が表示されたら信頼されたルート証明機関」の文字上を青色反転させます。

7 フィンガープリントの一致を確認し、「OK」ボタンをクリックします。



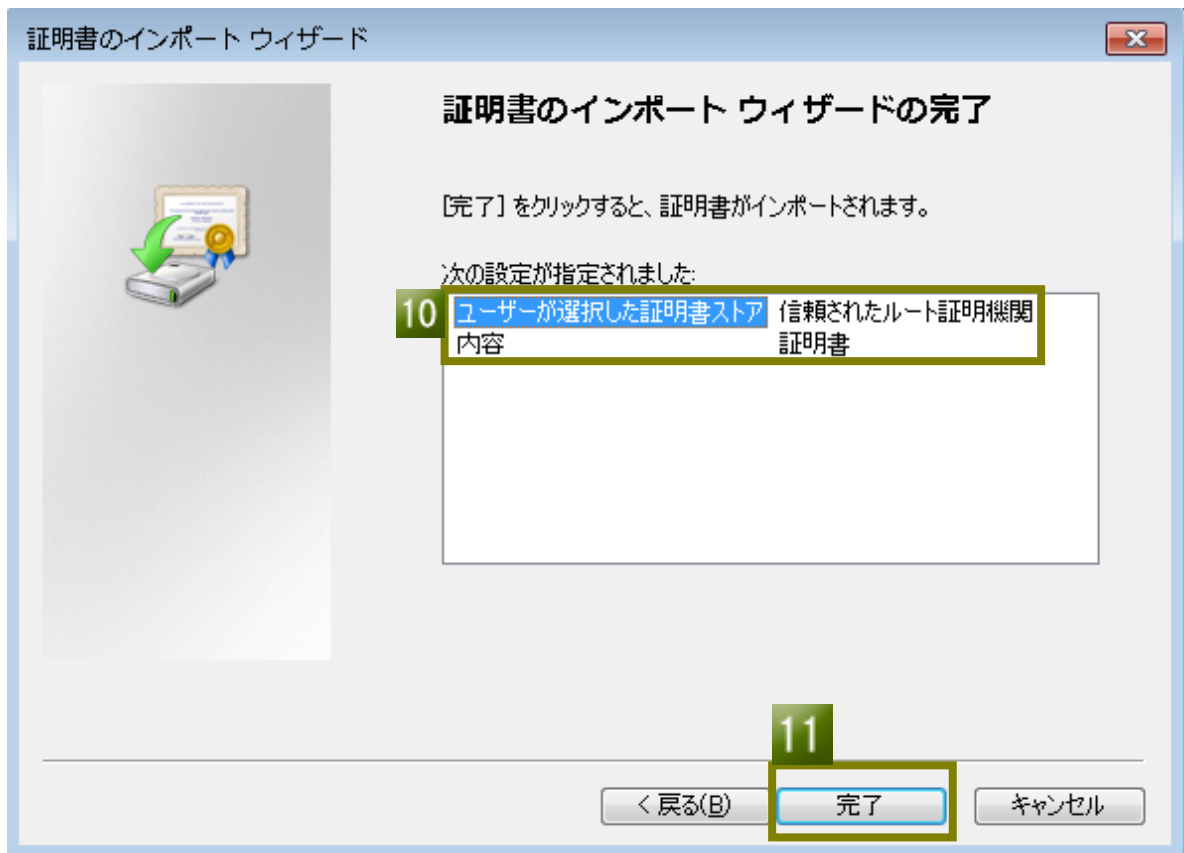
8 「証明書ストア」フィールド欄に「信頼されたルート証明機関」が登録されていることを確認します。
※万一間違っている場合は、「参照(R)...」ボタンをクリックし、設定をなおします。

9 「次へ(N)」ボタンをクリックします。

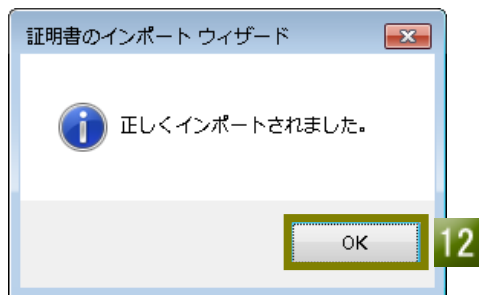


10 「ユーザーが選択した証明書ストア」の横に「信頼されたルート証明機関」が表示されていることを確認します。

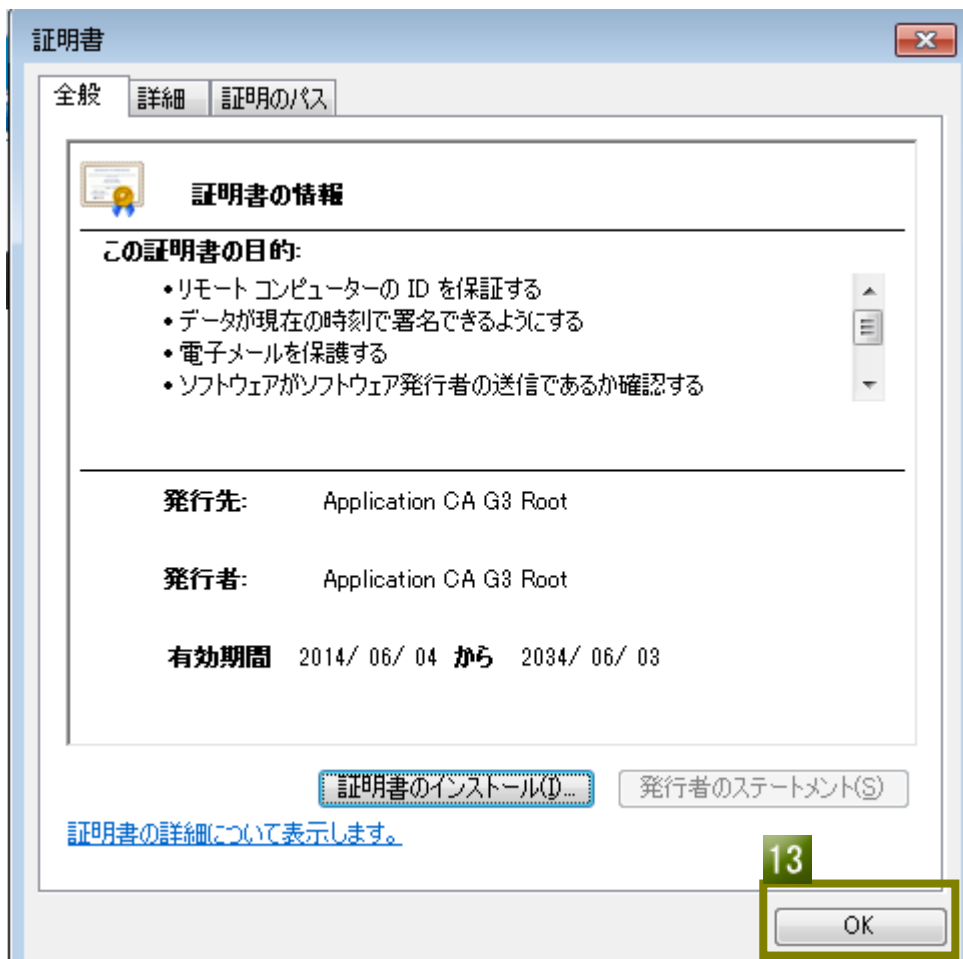
11 「完了」ボタンをクリックします。



12 正しくインストールされた場合は以下の画面が表示されますので「OK」ボタンをクリックします。



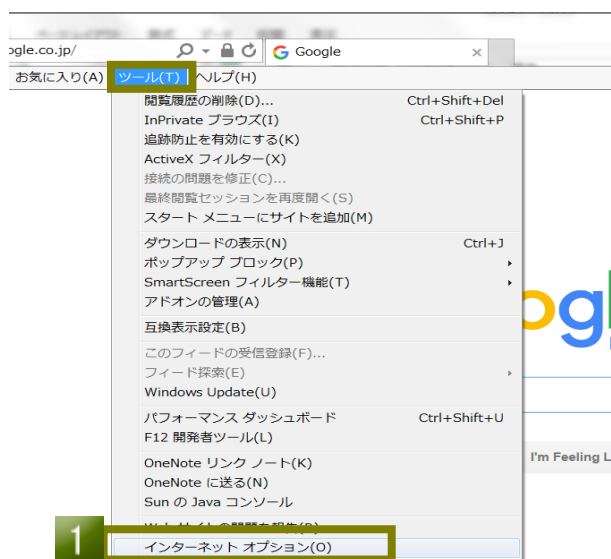
13 「OK」ボタンをクリックし、画面を閉じます。



5 ブラウザの設定

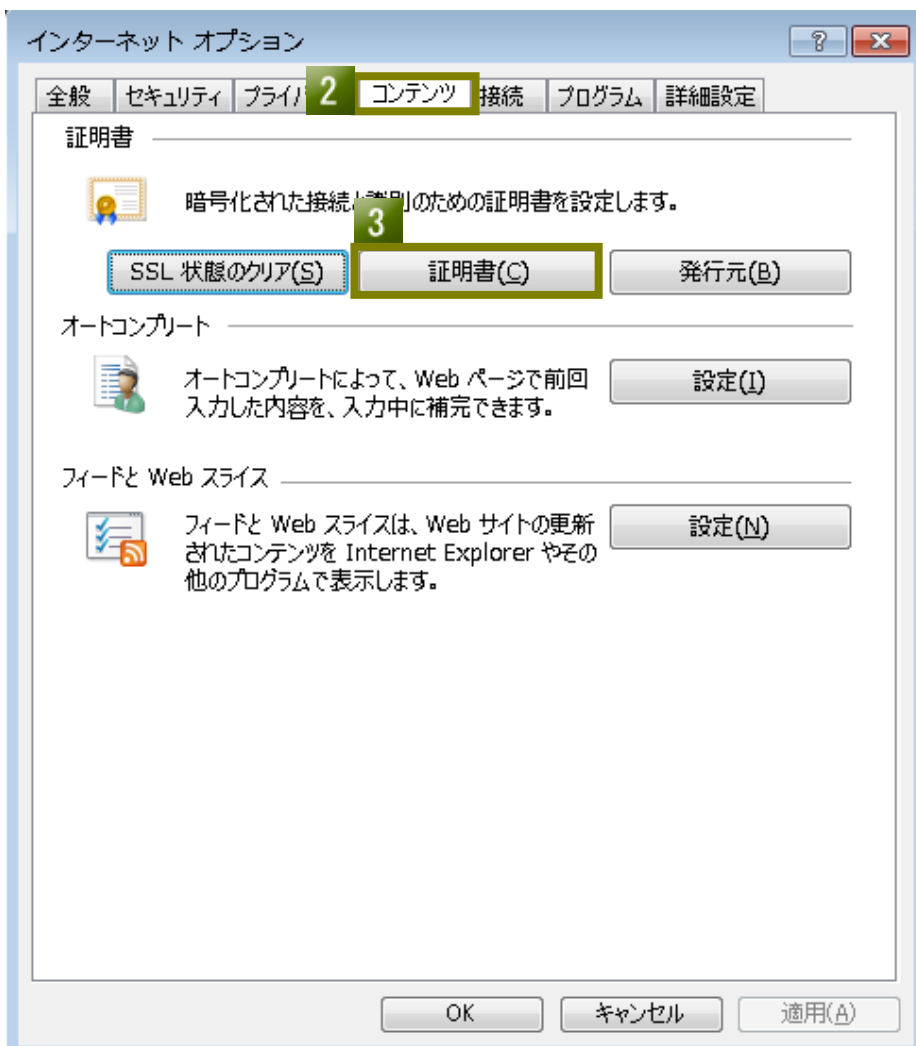
インターネットエクスプローラの設定変更を行います。

- 1 インターネットエクスプローラを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」をクリックします。



- 2 「コンテンツ」タブをクリックします。

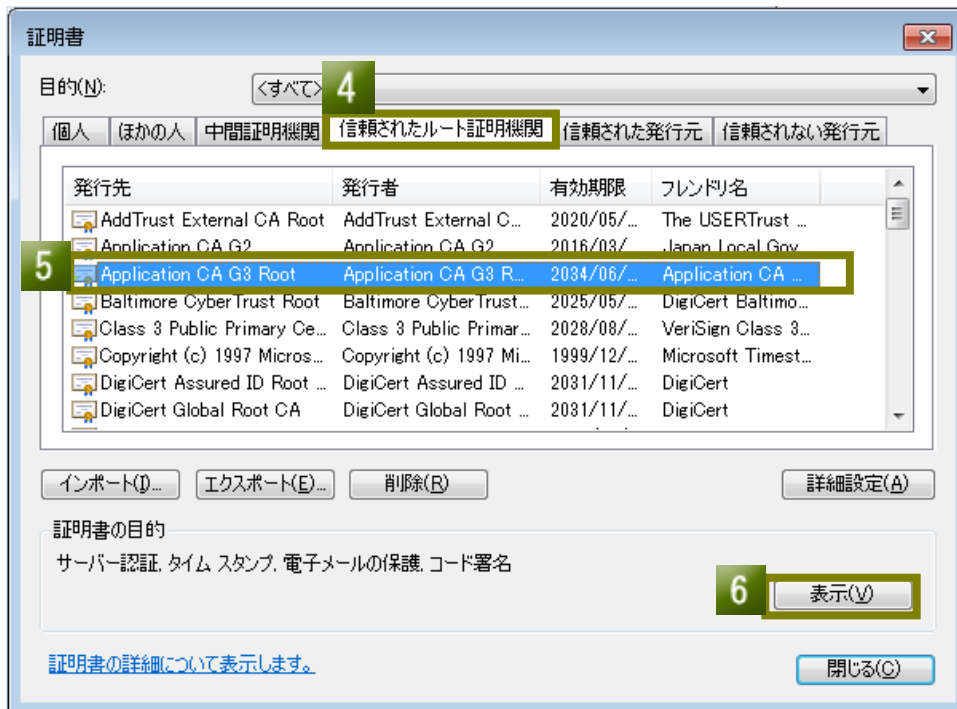
- 3 「証明書」フィールドの「証明書(C)」ボタンをクリックします。



4 「信頼されたルート証明機関」タブをクリックします。

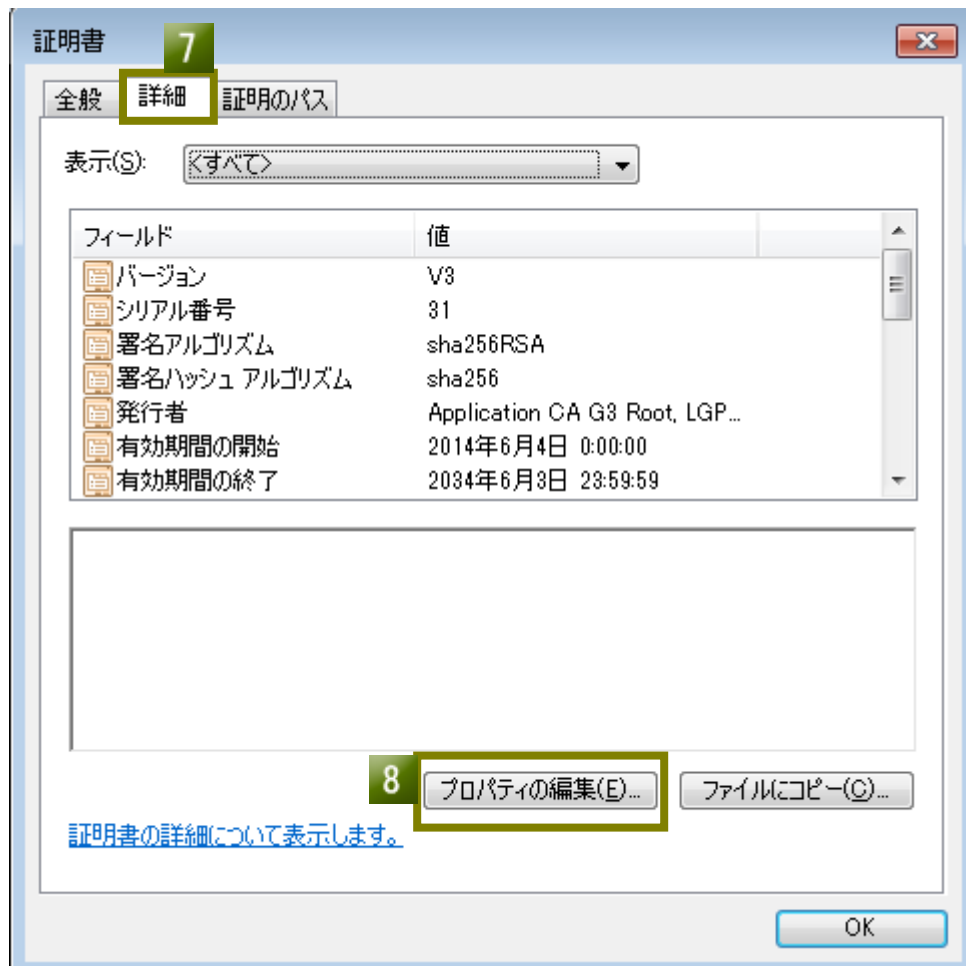
5 「Application CA G3 Root」をクリックして青色反転させます。

6 「表示(V)」ボタンをクリックします。



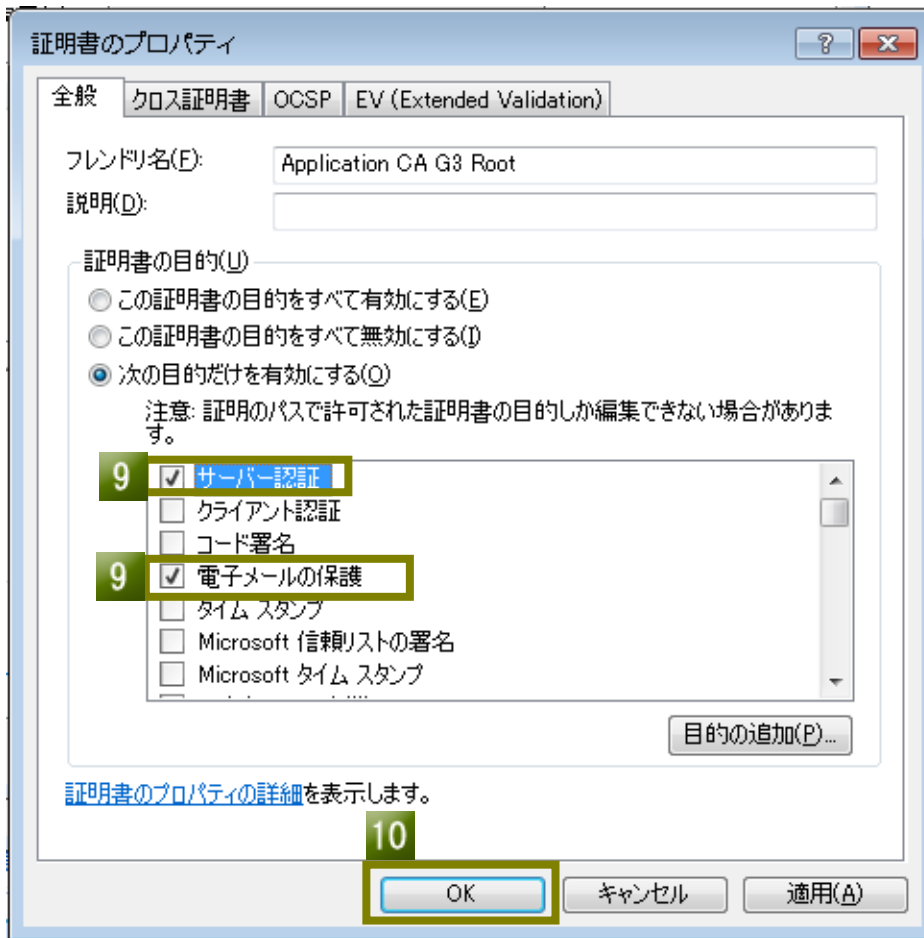
7 「詳細」タブをクリックします。

8 「プロパティの編集(E)」ボタンをクリックします。

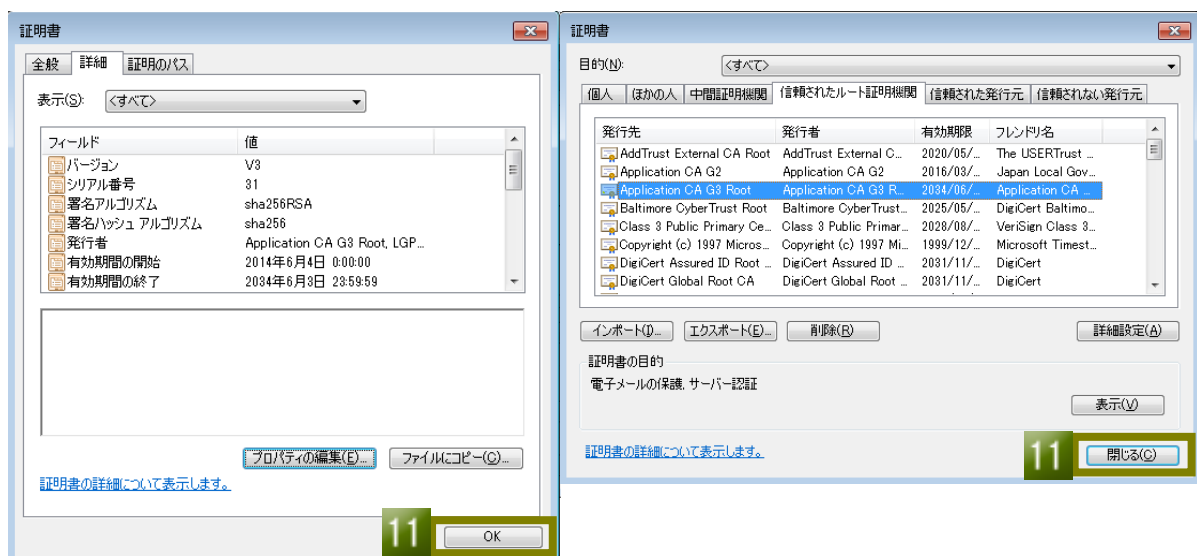


9 「サーバ認証」と「電子メールの保護」のみクリックしてチェックを入れ、その他はすべてチェックをはずします。

10 「OK」ボタンをクリックします。



11 「OK」ボタン、「閉じる」ボタンをクリックします。



以上で、すべての作業が完了しました。

以降、京都府電子申請システムを利用される場合には、暗号化通信 (SSL) が可能となります。